

洗浄能力の高いオリジナルクーラントで効率向上 ZC33S用ラジエーターもラインアップ

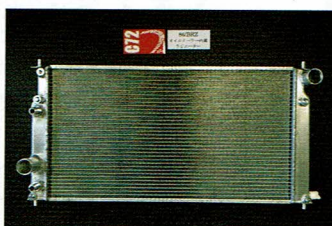
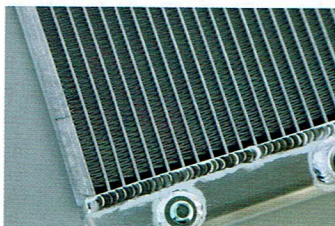
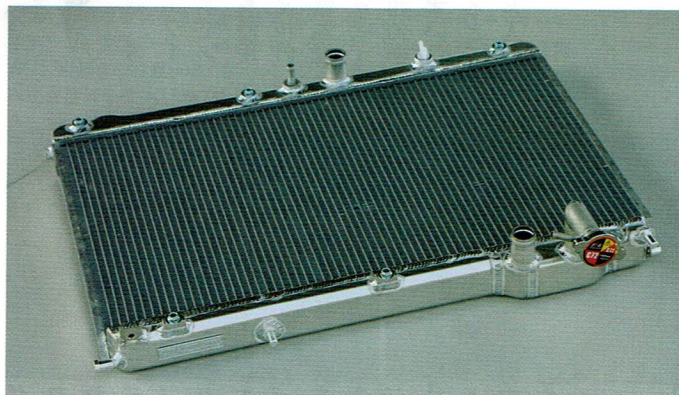
泡立ちを徹底的に防ぐことで冷却性能を落とさない

レーシングドライバーでもある脇田一輝さんが自身の経験に基づいて、より冷やすことを目標に開発したブランドがK&G。高性能クーラントとラジエーターでスポーツ走行を強力にバックアップする



C72 SUPER COOLING LIQUID
1万2000円(4ℓ・税別)

プロピレングリコールを使ったスポーツクーラント。高い熱交換能力を持つプロピレングリコールの採用と、泡立ちを防ぐことでサーキットでエンジンの高回転を多用しても冷却性能が落ちることを防ぐ。同時に水路のクリーニング効果が高く、使うほどに本来の冷却性能を発揮できるようになるという。



C72 SUPER COOLING SYSTEM
11万8000円~(税別)

一体整形プレスのフレックスラウンド加工でアルミ肉厚を抑えることで軽量化を達成。内部の冷却水の流れにもこだわり効率よく冷えるように設計。オイルクーラー内蔵タイプは省スペースでエンジンオイルを冷やす事が可能。内蔵タイプは86/BRZ、Z33、S13/14/15など。通常モデルは86/BRZ、Z33、BK3P アクセラ、アルファ・ロメオ147/156GTA、エキシージ、GE8 フィットなどをラインアップ

**ラジエーター+クーラントで
確実な冷却効率アップを**

「エンジン内部でより多くの熱を吸収し、どれだけラジエーターに移せるか」をコンセプトに開発されたのがC72スーパークーラント。プロピレングリコールをベースに使うことで熱吸収と放出の素早さを獲得。通常それと相反するとされる消泡性能を高めた。それによって高回転を多用するサーキットでも泡立ちにくい。泡立つと冷却性能は著しく低下してしまう。それを防ぐことでサー

キットでも高い性能を発揮する。また、水垢などが付着するのを防ぐ効果もある。これによって水路がキレイになるのはもちろん、ウォーターポンプやサーモスタットなどの延命化も期待できる。

ラジエーターはタンクにフレックスラウンド加工を施したオリジナル品。これは従来の溶接加工では折りや曲げ部分に強度が不足することがあったが、今回K&Gでは一体整形プレスにすることで強度アップを実現。肉厚を変えなくていいので、軽量化も可能になった。

ZC33S用の場合、容量は純正の約2倍に設定。純正ラジエーターではパワフルなターボパワーであつという間に水温が100℃に達し、大幅にパワーダウンしてしまう。しかし、K&G製にしてからは連続周回しても水温は90℃台で抑えることができ、サーキットを存分に楽しむことができるという。美浜サーキットでのテストでも水温は90℃付近で安定。テスト時は純正クーラントを使用してあり、さらにC72クーラントを入れば、もっと冷やすことが可能になるという。



美浜サーキットで外気温は17℃。テスト車はサーモが82℃タイプを採用。「走り込んでも水温は終始90℃付近で安定していた」と元嶋佑弥テスター